

令和6年4月8日

令和6年度小見川中学校の学校経営について

香取市立小見川中学校
校長 栗 芝 博

こんにちは。今年度4年目となります校長の 栗芝 博 と申します。

本来であれば昨年度末で定年退職の年でしたが、公務員の定年延長に伴い、今年度は「特例任用校長」という立場でお世話になります。今年度も全力で学校経営に努めますので、保護者・地域の皆様には、これまで同様、本校教育に対する御理解と御支援をよろしく願いいたします。

さて、令和6年4月1日、8名の転入職員を迎えて今年度がスタートしました。ここでは、第1回目の職員会議で私から本校職員に伝えた内容を中心に、令和6年度の学校経営について述べさせていただき、校長あいさつとさせていただきます。

まず、令和6年度の「学校教育目標」「めざす生徒像」「めざす学校像」は、昨年度に引き続き以下のように設定いたしました。

1 学校教育目標

未来を切り拓く力を身につけた思いやりのあるたくましい生徒の育成
～ 文武両道の教育実践をとおして ～

2 めざす生徒像

- 自ら学び、よく考える生徒
- 明るく、思いやりのある生徒
- じょうぶで、たくましい生徒

3 めざす学校像

- 明るい挨拶と歌声の響く学校
- 文武両道で生徒を育てる学校
- 保護者、地域から信頼される学校

私は、学校教育の場は「人づくり」の場であると考えます。私たち小見川中学校職員は、授業、部活動、学校行事、その他すべての教育活動をとおして生徒を育てます。このことは、教育基本法の第1条にも「教育は、人格の完成を目指し・・・」と記されているとおりです。具体的には、将来、生徒たちが社会に出たときに、周りの人たちと協調しながら、自立（自律）して充実した人生を送るための、人としての基礎づくりであると捉えています。

生徒たちが人間的に成長していける基礎を培うために、今年度も以下のことを重点とし、学校経営を進めてまいります。(職員にお願いした内容です)

○すべては信頼関係から ～日々の信頼貯金～

- ・生徒からの信頼、同僚からの信頼、保護者・地域からの信頼

○まずは教師から

- ・教師である前に、まず一人の自律した社会人でありたい。
- ・一人一人の生徒と「人対人」として誠実に向き合う人間性。
- ・生徒の成長に喜びを感じる感性。
- ・自ら成長しようとする意欲。

○本気の姿勢

- ・目の前の生徒たちのために、まず教師が本気になる！

○率先垂範

- ・教員の仕事の基本は率先垂範。
- ・やってみせ、言ってみせて、させてみて、ほめてやらねば、人は動かじ

○授業の充実（今年度は昨年度以上に頑張ります）

- ・生徒たちに何を身につけさせたいのかを明確にした授業の実践。
- ・念入りな教材研究。
- ・組織的な職員相互の授業参観の実施。
- ・管理職等による授業参観の実施。

○生徒指導の徹底

- ・あいさつ、黙動清掃、くつをそろえる。

○学校行事の充実

- ・学校行事を利用して生徒を育てる。

○部活動の充実

- ・文武両道で生徒を育てる学校
- ・勝つことが最終目的ではなく、人づくりを念頭に置き指導の過程を大切にする。
- ・地域移行の推進、クラブチームとのバランス。

○地域に開かれた学校

- ・学校ホームページの内容の充実と継続。
- ・積極的な学校公開等。

昨年度のこの紙面で「今年度は、昨年度を基準として、すべてをこれまで以上にレベルアップさせていく年です」と書かせていただきました。

令和5年度の「あいさつ・黙動清掃・くつをそろえる」など生徒たちの日常の様子、体育祭、合唱コンクール、卒業式など学校行事での感動、そして部活動に真剣に取り組む姿。手前味噌になってしまいますが小見中生は大変がんばりました。

令和6年度はこれまで以上に「本気」という言葉を前面に出して、生徒と職員が一丸となって前進していきます。今年度も、地域・保護者の皆様には、これまで同様変わらぬ御理解と御支援をお願いいたします。